

総務社会

● 辺地に係る公共的施設の総合整

総務社会委員会

教育委員会に「子育て支援課」設置でワンストップ・充実支援

● 大町市及び白馬村における北アルプス連携自立圏形成に係る連携協約の一部を変更する協約の締結の協議について
大町市と白馬村は、北アルプス連携自立圏形成に係る連携協

答

28年度完了予定のアセスメントマネジメントを細分化しての更新計画策定を29年度に予定、水道ビジョンに基づいた平成30年度からの事業実施を目指す。

意見

水道ビジョンの長期計画事業は多額の費用も掛かり、水道料金改定等も想定されるので、速やかな計画策定を要望したい。

▽委員全員の賛成により可決すべきものと決定。

● 予算審査全体を通しての意見

・ 予算の計数間違いがないよう努めること

・ 議会基本条例にもあるように、論点の明確化や効率性を担保するため、関連資料や説明方法は、ある程度統一したものとす

るよう研究していただきたい。

備計画の策定について

各辺地地域に係る平成29年度から平成33年度までの5年間の総合整備計画を策定するもの。各辺地は内山、嶺方、青鬼、落倉野平。

問

か。

人口50人以下になれば、辺地から外れてしまつ

答

がある。

今は、活用できるが、平成33年以降に外れる可能性

▽委員全員の賛成により可決すべきものと決定。

● 白馬村八方体育館の指定管理者の指定について

指定期間終了に伴い再指定をするもの。指定管理者となる団体は、一般財団法人 八方振興会、指定期間は平成29年4月1日から平成34年3月31日までの5年間。

▽委員全員の賛成により可決すべきものと決定。

約及び連携ビジョンを締結し、大北圏域5市町村での北アルプス連携自立圏の形成により、広域的な課題解決に向け圏域全体の地域結成化及び生活機能の確保と、全域への人材の誘導及び定着や促進を図っている。大町市と各町村と協議の整った広域観光、就労支援、医療・保健及び

公共施設の利用促進の分野においても、平成29年度から大北5市町村が連携して事業に取り組むこととしたことにより、連携協約の項目を追加することから連携協約の一部を変更するもの。

村の移住、就労支援の担当課は。

総務課の企画。

▽委員全員の賛成により可決すべきものと決定。

● 地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について

教育長が特別職の身分になったため、各条例において関係する部分を改正するもの。

今まで教育長は特別職ではなかったのか。

地方公務員法では教育長

であつたが、自治法での特別職ではなかった。

▽委員全員の賛成により可決すべきものと決定。

● 教育長の勤務時間、休憩等及び職務専念義務の特例に関する条例の制定について

教育長は、常勤の特別職として位置付けられ、新たに教育長の勤務時間等を定めるもの。一般職の「職員勤務時間及び休暇等に関する条例」の例によることとし、職務専念義務の特例を規定するもの。

▽委員全員の賛成により可決

べきものと決定。

● 地方公務員法では教育長



観光レクリエーション施設整備事業1億4200万円を辺地総合整備計画に盛り込んだスノーハープ